帯電防止塗床材

ユカトップドーデンシリーズ

神東塗料

ユカトップドーデンシリーズは電子部品、精密光学機器、半導体などを取り扱う製造工場や、クリーンルームの床に対して優れた導電性を付与する帯電防止塗床材です。

■シリーズ概要

品 名	特 長
ユカトップドーデン E	• ローラー塗りにて帯電防止用塗り床が施工できます。 • 埃を嫌う床や、導電性を必要とする製造工場などに適しています。
ユカトップドーデン E-NS	• 金ごて塗りにて帯電防止用塗り床の厚膜仕上げが可能です。 • シームレスな仕上がり性で、床面の洗浄性に優れます。 • 耐薬品性、物理的特性に優れています。
ユカトップドーデンプライマー	• ユカトップドーデン E-NSの専用導電性下塗りでローラーで施工できます。

■商品構成

品名	荷姿			混合比（重量比）	色相
ユカトップドーデン E	18kgセット	主剤	12kg	主　剤：硬化剤 2：1	調色 （導電性顔料特性により、濃色系は白みを帯びます）
		硬化剤	6kg		
ユカトップドーデン E-NS	15kgセット	主剤	12.5kg	主　剤：硬化剤 5：1	調色 （導電性顔料特性により、若干濁り傾向があります）
		硬化剤	2.5kg		
ユカトップドーデンプライマー	16kgセット	主剤	12kg	主　剤：硬化剤 3：1	黒
		硬化剤	4kg		

色相については、事前に弊社までご相談ください。

■ 特 性

項目	ドーデン E	ドーデン E-NS	試験方法
漏洩抵抗　Ω	10^8以下	10^8以下	静電気安全指針法
体積固有抵抗率　Ω・cm	6×10^3	10^5～10^7	JIS K 6911
耐摩耗性　mg	127	85	JIS K 7204 CS-17, 9.8N, 1000回転
硬度	H（鉛筆引っかき法）	83（ショアD）	
使用可能時間	2時間	30分	20℃
光沢	60	90	鏡面光沢度(60度)

■ドーデン E 性能試験（社内試験）

項目	結果	試験方法
硬度（鉛筆引っかき法）	H	JIS K 5600
付着性（クロスカット法）	100/100	JIS K 5600
耐摩耗性 mg	127	JIS K 7204　CS-17, 9.8N, 1000回転
耐衝撃性	異状なし	JIS K 5600　錘1kg　高さ100cm
歩行可能時間	16時間	23℃

■ドーデン E-NS 性能試験（社内試験）

項目	結果	試験方法
硬度（ショアD）	85	JIS K 7215
接着強さ N/mm²	2.6	建研式
耐摩耗性 mg	85	JIS K 7204　CS-17, 9.8N, 1000回転
耐衝撃性	異状なし	JIS K 5600　錘1kg　高さ100cm
引張強さ MPa	32	JIS K 6911
圧縮強さ MPa	72	JIS K 6911
曲げ強さ MPa	49	JIS K 6911
伸び率 %	1.4	JIS A 6252
引裂強さ N/mm²	62	JIS A 6252
歩行可能時間	20時間	23℃

■耐薬品性

項目	ドーデン E	ドーデン E-NS	
塩酸　10%	○	○	2ml滴下、円形に広がることを確認して、時計皿で覆う。 48時間放置後、表面を拭き取り、滴下した部分の状態を観察する。 評価 ◎：異常なし ○：使用に十分耐える △：変色、軟化 ×：膨潤、劣化 結果で△、×においても、すぐにふき取り処理を行えば、実用上使用は可能。
硫酸　10%	○	○	
硝酸　10%	○	○	
酢酸　10%	△	△	
乳酸　10%	×	○	
クエン酸　10%	○	△	
オレイン酸	○	△	
苛性ソーダ　10%	○	○	
苛性ソーダ　30%	○	○	
アンモニア水　28%	○	○	
次亜塩素酸ソーダ　3倍液	◎	○	
塩化カルシウム　30%	◎	○	
水道水	◎	◎	
食塩水	◎	◎	
ガソリン	△	◎	
キシレン	△	△	
エタノール	×	△	
酢酸エチル	×	×	

■塗り重ね時間

温度	10℃	20℃
ドーデン E	20時間以上7日以内	5時間以上7日以内
ドーデン E-NS	24時間以上7日以内	16時間以上7日以内
ドーデンプライマー	10時間以上7日以内	5時間以上7日以内

■使用可能時間

温度	20℃
ドーデン E	2時間以内
ドーデン E-NS	30分以内
ドーデンプライマー	5時間以内

なお、記載している数値は、代表値であり、保証値ではありません。

■ 標準塗装仕様例

ドーデン E工法（新設・既設 コンクリート・モルタル面）

工程	使用塗料（希釈剤）	希釈率（%）	標準塗布量（kg/㎡/回）	塗回数	工程間隔（23℃）	塗布方法
下地調整	1. モルタル、コンクリートの含水率は10%以下（ケット科学研究所製CH-2型）、または5%以下（ケット科学研究所製HI-500およびその後継機）で、pH10以下を確認する。 2. 全面をポリッシャー、サンダー等で処理し、表面に付着しているエフロレッセンス、脆弱素地（レイタンス）、突起物、浮き部分を除去する。 3. 付着している汚れ、グリス、油脂等はユカトップ油面クリーナーを用いて取り除き、水洗いして素地を十分に乾燥させる。 4. ごみ、ほこり等は清掃し取り除く。 5. 素地の凹部は除去し、凹み部やヘアクラック等は、下塗り塗料後、塗膜が乾燥していることを確認してから、速乾ユカトップパテで補修する。					
プライマー	湿潤面用プライマーⅡ（水道水）	10～15	0.12～0.15	1	16時間以上 7日以内	はけ 中毛ローラー
下塗り	ユカトップ エポハード 100部 SPフロアー骨材No.7 50部	無希釈	1.0 0.5	1	16時間以上 7日以内	金ごて
アース板	エポキシ系接着剤で専用アース板を接地する。					
中塗り	ユカトップドーデン E（ユカトップ Eシンナー）	15～20	0.15	1	5時間以上 48時間以内	はけ 中毛ローラー
上塗り	ユカトップドーデン E（ユカトップ Eシンナー）	15～20	0.15	1	24時間以上（歩行可能）	はけ 中毛ローラー

ドーデン E-NS工法 2.0mm厚（新設・既設 コンクリート・モルタル面）

工程	使用塗料（希釈剤）	希釈率（%）	標準塗布量（kg/㎡/回）	塗回数	工程間隔（23℃）	塗布方法
下地調整	上記仕様と同じ					
プライマー	湿潤面用プライマーⅡ（水道水）	10～15	0.12～0.15	1	16時間以上 7日以内	はけ 中毛ローラー
下塗り	ユカトップ エポハード 100部 SPフロアー骨材No.7 50部	無希釈	1.0 0.5	1	16時間以上 7日以内	金ごて
アース板	エポキシ系接着剤で専用アース板を接地する。					
中塗り	ユカトップドーデンプライマー	無希釈	0.12	1	6時間以上 48時間以内	はけ 中毛ローラー
上塗り	ユカトップドーデン E-NS	無希釈	1.40	1	24時間以上（歩行可能）	金ごて

ユカトップドーデンシリーズ 全般の注意事項

- 取り扱い作業時、塗布後の養生時は十分換気を行ってください。
- アース板は原則、6m間隔に接地することを推奨します。また、目地等により、床面が区切られている場合、区切られた面には全てアース板を接地してください。
- 標準塗布量を厳守して塗装してください。極端に薄塗りした場合、厚塗りした場合などは仕上がり性、導電性能に影響します。
- 塗布終了後、歩行まで最低1日以上養生してください。また重量物等通行開放までの養生時間は3日（20℃）以上あけてください。
- ユカトップドーデン Eは、導電性顔料の影響により濃色系については白みを帯びてみえることがあります。
- ユカトップドーデン E-NSは、導電性顔料の影響により若干濁り傾向にあります。
- 仕上がり色相については、事前に弊社までご相談ください。
- 漏洩抵抗の測定は、塗膜が完全に硬化してから実施してください。硬化乾燥が不十分な場合には、適正な漏洩抵抗値が発現しない可能性があります。（完全硬化の目安：23℃で3週間養生）
- 冬期や梅雨時期の塗装においては、塗装後の温度変化にも注意して、気温、湿度管理を行い、アミンブラッシング、白化に注意してください。

ユカトップドーデンプライマーについての注意事項

ユカトップドーデンプライマーは次に記載する使用方法や養生方法を守らないと、適正な漏洩抵抗値が発現しない可能性がありますのでご注意願います。

- ユカトップドーデンプライマー（主剤）は顔料成分が沈降しやすくなっています。使用される際、必ず電動撹拌機を用いて主剤を十分撹拌混合し、容器の底に沈降物がないことを確認してから硬化剤を加え、電動撹拌機で主剤と硬化剤を十分混合撹拌してからご使用ください。
- ユカトップドーデンプライマーの施工、養生は原則23℃以上の環境で実施してください。
- ドーデンプライマーからドーデンE-NSの塗装間隔は23℃以上で16時間以上48時間以内になります。ただし、温度管理ができないような現場において気温23℃を下回る場合には、ドーデンプライマー塗布後の状態で漏洩抵抗値$1\times10^4\Omega$以下を満足するまで養生期間を延ばしてください。

施工上の注意事項

■施工上の注意事項
1. 気温および被塗面温度が5℃以下のときは塗装を避けてください。低温時には乾燥遅延など不具合が生じやすくなります。やむを得ず低温時に塗装するときは採暖対策が必要です。
2. 湿度85%RH以上のときは塗装を避けてください。被塗面の水分によって、乾燥遅延や塗膜性能を発揮できないことがあります。
3. 結露が予測される場合は塗装を避けてください。(特に早朝、夕刻の結露には注意してください。)
4. 付着しているグリス、油脂等はユカトップ油面クリーナーを用いて除去し、水洗いを行って十分に乾燥させてください。
5. 下地の凸部は研磨機等で除去し、凹部、ヘアークラック等はユカトップ速乾パテ等で補修してください。
6. コンクリート、モルタル面への塗装は、表面含水率は10%以下(ケット科学研究所製CH-2)または5%以下(ケット科学研究所製Hi500およびその後継機)で、素地状態がpH10以下を確認してから塗装してください。(打設後養生期間の目安はコンクリートの場合1か月以上、モルタルの場合夏期で14日以上、冬期で21日以上です。)
7. エフロレッセンス、レイタンス層等は、ディスクサンダー、ポリッシャー等で研磨してください。
8. 研削機などを使用する際には、騒音や粉塵対策を十分に行ってください。
9. 軽量コンクリートへの塗装は避けてください。
10. 特殊コンクリート(カラーコンクリート、フェロコン、浸透型表面強化剤で処理されたコンクリート等)への施工は、下地調整として研磨機等により表面目粗しを行い、下塗りとして湿潤面用プライマーⅡを塗付してください。
11. 屋外への施工は避けてください。
12. 被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。

■取扱いに関する注意
1. 周辺での火気、スパーク、高温物には注意して、火気厳禁としてください。
2. 静電気対策のため、使用する装置などは接地してください。
3. 塗料取り扱いの際は換気を十分に行ってください。
4. 塗装中および塗料の取り扱いには必要な保護具(帽子、ヘルメット、保護めがね、マスク、手袋など)を使用し、身体に付着しないようご注意ください。
5. 吸入に関する危険物有害性の表示がある塗料を塗装する場合は、局所排気装置などを設置し、作業時には有機ガス用の防毒マスクやエアラインマスクなどを着用して作業を行ってください。
6. 指定品以外の他品種、他品名の塗料との混合は絶対に行わないようにしてください。
7. 皮膚接触による感作性を引き起こすことがあります。
8. 容器の蓋を開ける際には、缶の内圧が上がっている場合があります。開缶時は十分に気をつけてください。
9. 塗料開缶は原則として使用する直前に行い、開缶したものはその日のうちにご使用ください。
10. 塗料は使用する前に電動攪拌機等を用いて、塗料缶の内容物を攪拌し均一な状態にしてください。
11. 主剤・硬化剤は所定の割合で混合し、電動攪拌機等を用いて十分にかき混ぜてください。
12. 硬化剤は湿気の影響を受けやすいため、保管時の水分等の混入には十分に注意するとともに、開缶後は全量使い切るようにしてください。
13. さげ缶に小分けするときは、十分にかき混ぜたものを小分けし、使用するさげ缶はきれいなものを用いてください。
14. 塗料取り扱い後および塗装作業後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
15. 使用した塗装用具は直ちにラッカーシンナー、またはユカトップEシンナーで洗浄してください。
16. 塗料の保管は、承認を受けた危険物倉庫に貯蔵・管理することが必要です。

■塗装に関わる注意事項
1. 専用シンナーを必ず使用してください。色ムラ、艶ムラの原因になることがあります。
2. 希釈率、工程間隔などは、規定の数値を厳守してください。
3. 混合後は直ちに塗装してください。混合後、使用可能時間を過ぎた塗料を使用すると塗膜性能低下の可能性がありますので、規定時間内に使用してください。
4. 塗装時および乾燥中は十分に換気を行ってください。
5. 仕様に書かれている数値は標準的なものであり、被塗面の状態、施工条件、気象条件などにより幅を生じる場合があります。
6. 標準塗布量以上の厚塗りは避けてください。一度に厚塗りをした場合、乾燥不良や塗膜ひび割れなどを生じます。
7. 軽歩行は最終塗装後翌日(20℃)から可能ですが、早期解放は、塗膜粘着、靴跡、タイヤ跡などの不具合が生じる場合があるため、重量物等通行開放までの養生時間は3日(20℃)以上あけてください。

■緊急時の対応
1. 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
2. 皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
3. 蒸気、ガス等を吸入した場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
4. 飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
5. 容器からこぼれた場合や飛散した場合は、砂、布(ウエス)などで拭き取ってください。
6. 万が一、火災が発生した場合は炭酸ガス、泡、粉末消火器を用いてください。

■廃棄
1. 塗料ダスト、塗料カス、使用済ウエスなどは廃棄するまで水につけておいてください。
2. 使用済みの塗料缶や塗料が付着したウエスや残塗料を廃棄する場合は、関連法規に従って産業廃棄物として廃棄してください。
(河川や土壌等、環境汚染になる場所へ廃棄しないでください。)

■保管
1. 残塗料は密封して冷暗所に保管してください。
2. 子供の手の届かない場所に保管してください。
3. 塗料の保管は関連法規を遵守してください。
4. 容器はつり上げないでください。

※ 安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)を参照ください。
※ 必ず各塗料の個別カタログに記載している注意事項をご確認ください。
※ ご不明な点に関しましては、弊社問い合わせ先までご連絡願います。

くらし ゆたかに あざやかに 未来を創造するコーティング
神東塗料

本　社　〒661-8511兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号
☎(06)6426-3355(代)　FAX(06)6429-6188(代)

製品に関するお問い合わせ

北海道　☎(0123)32-0431 FAX(0123)34-6199
東　北　☎(022)353-6951 FAX(022)353-6952
東　京　☎(03)5690-0544 FAX(03)5690-0553
静　岡　☎(054)245-0135 FAX(054)247-4091
北　陸　☎(076)262-1305 FAX(076)262-1315
名古屋　☎(052)612-0293 FAX(052)612-0318
大　阪　☎(06)6426-3763 FAX(06)6429-6268
中　国　☎(082)264-6822 FAX(082)264-6821
四　国　☎(0897)65-4550 FAX(0897)65-4576
九　州　☎(092)472-2222 FAX(092)473-5777

https://www.shintopaint.co.jp/

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承願います。